



2019年(令和元年)  
8月11日  
日曜日  
山の日

天気	6	9	12	15	18	21	24	27	30
名古屋	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
豊橋	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
岐阜	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
高山	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
津	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
尾鷲	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
浜松	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
東京	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
大阪	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴

朝日新聞名古屋本社 発行所:〒460-8488名古屋市中区栄1-3-3 電話:052-231-8131 www.asahi.com

# 匿名でも個人特定可能

## ビッグデータ安全性 海外研究で懸念

ビッグデータなどで活用される匿名化された大量のデータの安全性に疑問を投げかける研究結果が、海外で発表された。プライバシー保護のために匿名化されていても、複数の断片的な情報を手掛かりに高い確率で個人が特定されるというのだ。

▼3面「データは指紋」

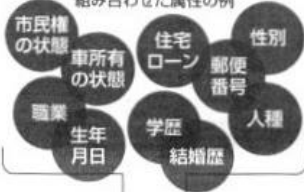
### 15の属性で99%特定

研究結果は英国とベルギーの研究チームが先月下旬、英科学誌「ネイチャー・コミュニケーションズ」に発表した。

ビッグデータはマーケティングなど幅広い分野で活用されつつあり、企業など第三者に提供・販売されている。その元となる個々の

公開データを手がかりに匿名の個人を特定できる  
英国、ベルギーのチームの研究

組み合わせた属性の例



統計学や機械学習の計算法を駆使  
組み合わせる属性が増えれば特定できる度合いが高まる

15の属性で米マサチューセッツ州の住民の99.98%の個人を特定

データは、提供前に氏名、住所、生年月日などを削除し、クレジットカードの購入履歴、鉄道の乗降履歴などから個人の特定につながる部分はいまいる。匿名化が行われる。しかし、現在の各国・地域の基準に基づいて匿名化しても、個人が特定される

のではという問題意識から、英インベリアル・カレッジ・ロンドンと、ベルギーのルーバン・カトリック大学の研究チームは、統計学などの計算手法を駆使して、その可能性を調べた。

研究には匿名化して公開されている米国勢調査局のデータの属性情報を使った。生年月日、性別、郵便番号だけでは特定は困難だが、人種や市民権の状態、学歴などを組み合わせると、特定される割合は高くなった。さらに車の所有状況や住宅ローンの状態を含む計15の属性情報を使うと、マサチューセッツ州の全住民(約700万人)の99.98%について、こうした情報で特定の1人ものものと絞り込めた。

チームは「国や地域のデータ保護当局はこうした新たな脅威への対処が欠かせない」と主張している。日本では2017年に施

行された改正個人情報保護法により、匿名化された「匿名加工情報」の第三者提供が出来るようになった。事業者などが購入したデータをもとに、今回の研究と同様に絞り込みで個人の特定を試みることはできる。ただ、匿名の個人を特定する目的で、別の情報と照合することは禁じられている。(勝田敏彦)

# 匿名化しても…警鐘

客の購入動向やニーズに応じた商品やサービスを薦めたり、企業の業務の効率化や最適な人員配置を図ったり。ビッグデータは幅広い分野で利活用が広がっているが、前提となるデータの匿名性はネット上で保たれているのか。今回の論文は警鐘を鳴らす。

▼1面参照

## 英紙「データは指紋」

欧米では、先月発表されたこの研究内容は関心を集めた。米紙ニューヨーク・タイムズは「あなたのデータは匿名化されている？だが科学者はあなたを特定できている」、英ガーディアンは「データは指紋 ネットの世界ではあなたはあなたが思っているほど匿名ではない」との見出しでそれぞれ報じた。

ただ、日本でも匿名化して、まとめられたビッグデータの提供が進みつつあり、対岸の火事とはいえない。個人情報保護法が改正され「匿名加工情報」の考えが導入された。2018年、JR東日本が外部に販

## 特定の恐れ 日本でも

売していたICカード「S Uica(スイカ)」の乗降履歴から、個人が特定される恐れがあると批判を浴びたことがきっかけだった。匿名加工には基準があり、特定の個人の識別につながる氏名や生年月日、住所などの全部または一部を削除したり、住所を県や市までにあいまいにしたりといった要件を満たせば個人情報扱いではなく、本人同意がなくても第三者に提供できる。国の個人情報保護委員会によると、これまで少なくとも数百件の匿名加工情報が提供された。

匿名データからの個人の特定をめぐっては、過去に別の研究者が、公開情報に含まれる生年月日、性別、郵便番号から米州知事の病歴記録を特定した。また、有料動画配信サービス・ネットフリックスが提供した匿名化された閲覧履歴情報を使い、研究者が公開の映画レギュラーサイトの内容を照合して、個人を特定したケースなどもある。

米国ではデータがオンライン公開されることが多く、属性にまつわるさまざまなデータが日本より入りやすい事情はある。た

ただ、匿名加工に関する政府の指針は、あらゆる手法によって特定できないということまでは求めず、現在の一般的な技術レベルで特定できればよいとしている。また、匿名化の方法の細かいところは必ずしも明確ではない。

産業技術総合研究所の高木浩光主任研究員は、個人が特定されない適切な匿名加工の必要性を強調する。そのうえで「今回の論文が指摘している問題はこれまでも言われていた。一人しかいないようなデータがあれば、どうしてもリスクが

高くなる」と話す。

ほかに、匿名データから個人が特定される大きなリスクとして考えられている手法としては、別の情報との照合によるものがある。法律で禁じているが、政府の「パーソナルデータに関する検討会」の技術担当会

合で主査を務めた国立情報学研究所の佐藤一郎教授は、「購買履歴や治療履歴などは人によって大きく異なるので、(照合による特定につながる)リスクがあると知っておいてほしい」と語る。ただ、データの削除や、

2019.8.11 朝日新聞 3面

あいまいにする加工を進めすぎると、ビッグデータ活用の芽を摘むことになる。個人情報保護委員会の担当者は「個人情報保護と利活用のバランスを取り、最新の技術動向も注視していきたい」と話す。

(勝田敏彦)